

社会福祉法人
北ひろしま福祉会

夷蝦援護咲く

vol.64
エゾエンゴ・サク

これからもONE TEAMで

昨年、1月に新型コロナ感染症(COVID-19)が発症してから1年3ヶ月になろうとしています。

法人としても感染対策を続けてきましたが、昨年11月10日に当法人でも4名の陽性者の確認があり、感染が広がっていきました。石狩振興局・北広島市・千歳保健所等の関係機関によって、感染症対策本部が法人事務局内に設置され、本格的な対策に取り組んできました。そのような状況下で、高橋常務を筆頭に施設危機管理部や各事業所所長がリーダーシップをとり、400余名の職員のみんなが適切な対応を続けたこと。また、家庭内療養も施設内療養も想像以上に困難を極めるものとなりましたが、日頃からお世話になっております地域拠点病院と訪問診療の連携があり、まさにONE TEAMの対応力と実践力でこの局面を乗り切り、12月28日には石狩振興局から終息宣言を出してよいとのお話をいただきました。感染が確認された日から49日目で終息できた陰には、本当にたくさんの関係機関のご支援ご協力がありましたこと、心から感謝申し上げます。

また、全道各地から同業種の皆様からの温かなお言葉、多くの寄贈品等がありましたこと、紙面をお借りして感謝申し上げます。

新型コロナ感染症は、まだ終息という状況にはなりません。今後もONE TEAMで感染症対応はもとより法人運営をしていきたいと思っております。

今後ともご支援ご協力をどうぞよろしくお願い致します。

北ひろしま福祉会 理事長 渡邊憲介

献血活動 ~いま私たちにできること~

2020年9月4日、今年3回目の献血を実施しました。コロナ禍の中、「いま、私たちができること」を検討する中で、どんな状況下にあっても血液を必要とされる方が大勢いること、私たちの献血で救える命があること、法人理念に基づくものでもあることから実施してきました。献血活動は、前回の広報紙にも掲載しており、如何にこの活動に力を注いでいるのかご理解いただけることと思います。

回を重ねるごとに献血する職員も増え、献血データから自分の健康状況のチェックをしたり、残念ながら献血基準に達しなかったことで生活を見直すきっかけを作るなど、



ただ単に献血をするだけに留まらず、自分自身の健康を考える機会にもなっています。献血活動を通じ、いまも、そしてこれからも「わたしたちができること」を法人として推進して行きます。次回も、感染対策をしながら5月の実施を予定しています。



おまかせ▲うんチーム



北ひろしま福祉会の職員は、利用者さんの生活や人生を支えるための技術や知識、考え方についての研究を日々欠かすことはありません。それぞれの事業所や専門の壁を越えて、多くの職員が法人の様々な委員会に所属しています。そんな数ある委員会のひとつ、人が生きる上で絶対に欠かせない排泄、その大切さとケアについての研究と実践を重ねているのが、わたしたち「おまかせ▲うんチーム」です。法人の委員会でありながら▲マークが入るあたり、ふざけたネーミングと思われるでしょうが、これは排泄ケアを専門に研究するチームを立ち上げるきっかけとなった榎原千秋先生が開催する「うんこ文化センター おまかせうんチッチ」に由来する由緒正しきネーミングなのです。石川県金沢市にある「うんこ文化センター おまかせうんチッチ」は、「赤ちゃんから高齢者まで、病いや障がいがあつても誰もが気持ちよく排泄できるための地域の排泄ケアの拠点」として、日本全国の排泄ケアに携わる志ある人が訪れる「排泄ケアの聖地」として知られています(わたしたちも2019年に泊まり込みの研修に行かせてもらいました)。そんな榎原先生から「インパクトあるネーミングにせなアカンで」とのご指導を受け生れたのが、この『おまかせ▲うんチーム』なのです。もちろんそこには「排泄ケアのことならなんでもおまかせ！」という強い信念も込められています。ひとことで排泄と言ってもそこに抱える課題は人それぞれです。便秘ひとつを例にとってみてもその症状や原因はさまざまですが、そこを追求しなければ解決に向けてのアプローチは極めて限られたものになりかねません。お腹のマッサージや食事改善、下剤の使用などが一般的ですが、どの方法であっても症状と原因に合わせた的確なアプローチが必要なのです。今は法人の利用者さんがその対象になっていますが、わたしたちが将来的な役割と考えているのは、地域に住む赤ちゃんや高齢の方をはじめとしたみなさんからのお相談に応えることができるようになることです。日頃のセルフケアができるようなお手伝いもさせたいいただきたいと思っています。コロナ禍が落ち着きを見せた頃、地域のみなさんにわたしたちの培ったものを還元させてもらえることを願いつつ、今日も現場での実践に取り組んでいます。



ふるさと納税返礼品に採用!



北広島デイセンターで製作している蜜蠟キャンドルが北広島市のふるさと納税返礼品として登録されました。2016年に障がいのある方とスタッフで知恵を出し合い、仕事を創り出したい、オリジナル商品を作りたい、地元の方々と協働して地域を盛り上げたいなど、様々な想いから生まれたのが、この蜜蠟キャンドルです。あれから丸5年が経過し6年目になります。たくさんの協力のもと続けることができ、そして、この度評価をいただけたことにも感謝しています。地元の荒井養蜂場から仕入れる蜜蠟が原料の蜜蠟キャンドルは、この鮮やかな黄色が特徴です。花粉の色をそのまま生かした自然の色を感じられます。黄色は、あたたかく元気の出る色ですので、開けた時にまず目で見て楽しんでいただけます。そして、いつものお部屋をちょっと暗くして、このキャンドルを灯してみてください。やわらかいオレンジ色の灯りがきっと心をおだやかにしてくれます。油煙や嫌な匂いもありませんので、何も邪魔することなくお使いいただけます。私たちのつくるキャンドルが皆さんにしあわせをお届けできたらと願って『しあわせキャンドル』と名付けました。このキャンドルと共に心豊かな時間をお過ごしいただけたらうれしいです。

ふるさと納税のホームページです。

<https://www.furusato-tax.jp/product/detail/01234/4982000>

どのような商品が届くのか。開封の動画をYoutubeで見ることができます。ぜひご覧ください！
<https://www.youtube.com/watch?v=2sIV2rWzv4o>

星槎道都大学と包括連携に関する協定を締結

2020年3月26日、星槎道都大学との間で包括連携に関する協定を締結いたしました。

この包括連携は、ともに北広島市に本拠地を置き、地域に根差した法人づくりを目指す法人同士が、業種を超え産学連携を通して相互の発展に寄与するとともに、地域の福祉・介護の人材育成および学生の臨床資質の向上のため、相互の持つノウハウや資源等を有効活用した連携を目的に協定を締結しました。早速、働きながら単位が取得できる有償型インターンシップ制度への応募があり、12名もの学生が4つの事業所で働きながら支援や介護の実践を学んでいます。また、キャリア支援講座において、障がい者就労支援センターーーでの相談員が全学部の1年生を対象に「相談支援から見えた「生きづらさ」に対する支援～発達障がいを抱える方の事例をもとに～」と題して特別講義を行いました。今後も、大学とのより強固な関係性を築き、地域福祉・介護技術の向上を目指して連携して行きます。





就労センタージョブ 2021年12月移転OPEN!

就労センタージョブは、建物が生まれ変わり、たくさんの人たちの新たな活躍の場所として、その輝きを放ちます。私たちの事業所からは、新球場をはじめとする北海道ボールパークを見晴らすことができ、夢のある場所での夢のある事業を展開できることにわくわくしています。これから長きに渡りこの地に必要とされる場所をつくりたい、多くの人が集まる賑やかな場所を作りたいという想いから、私たちが大切にしている『食』を通したつながり。ボールパーク構想が結びつける『スポーツ』とのつながり。そして、障がいや年齢、性別などの垣根を超えたつながりを『芸術』(文化的な活動の創造)を通して実現していきます。



コンセプトは、
「食とスポーツと芸術で未来をつくる」です。



就労センタージョブに関わる利用者さん一人ひとりが自分の持っている力を発揮し、ありのままの自分を表現できる環境をつくり出すことで、自分に誇りを持って生きていいくことを全力で支援していきます。

皆さんに興味を持ってもらえるように、これからたくさんの情報を発信していきますので、どうぞお楽しみにしていてください!

社会福祉法人 北ひろしま福祉会 事業所一覧



北で広がる夢がある熱い想いを日ハムへ! 北ひろしま福祉会も応援しています!

寄附一覧

法人の活動や各種イベントにご協力いただいております。この場を借りて、改めて御礼申し上げます。
(順不同、敬称略。個人でのご寄付は記載を差し控えさせていただきます。ご了承ください。)

- 昭和プラント
- 社会福祉法人 えべつ幸誠会
- 社会福祉法人 千歳いずみ学園
- 北海道信用金庫
- 税理士法人MBL
- 北海道知的障がい福祉協会
- 札幌知的障がい福祉協会
- 社会福祉法人 札親会
- 社会福祉法人 長沼陽風会
- 社会福祉法人 恵庭光風会
- 道央知的しうがい者福祉施設協会
- 社会福祉法人 はるにれの里
- 社会福祉法人 新篠津福祉会
- 社会福祉法人 新篠津福祉会 新しのつ幸生園
- 社会福祉法人 新篠津福祉会 ふれあいの苑
- 社会福祉法人 南幌苑
- 社会福祉法人 札幌協働福祉会
- 社会福祉法人 新冠ほぐと園
- 社会福祉法人 明和会
- ジョブサポートフレーバーカンター
- 社会福祉法人 明和会 ホームピニネ
- 社会福祉法人 明和会 共同生活援助事業所あおは
- 社会福祉法人 雪の聖母園
- 社会福祉法人 雪の聖母園 しみずさわ
- 社会福祉法人 札幌報恩会
- 社会福祉法人 北光福祉会 向陽園
- 社会福祉法人 生振の里
- 社会福祉法人 長井学園
- 社会福祉法人 富門華会
- 社会福祉法人 栗山ゆりの会 ハローENJOY
- 社会福祉法人 後志報恩会
- 社会福祉法人 後志報恩会 大江学園
- 社会福祉法人 後志報恩会 銀山学園
- 社会福祉法人 函館緑花会 ふじの学園
- 社会福祉法人 美々川福祉会 美々川福祉園
- 社会福祉法人 ピバランド 大渚学園
- 社会福祉法人 ピバランド 優徳荘
- 社会福祉法人 古平福祉会
- 社会福祉法人 北海道社会福祉事業団 太陽の園
- 社会福祉法人 愛光会 門別愛光園
- 社会福祉法人 川東の里
- 社会福祉法人 伊達コスモス21
- 社会福祉法人 侑愛会
- 社会福祉法人 小樽四ツ葉学園 小樽四ツ葉学園
- 社会福祉法人 小樽四ツ葉学園 余市幸住学園
- 社会福祉法人 小樽四ツ葉学園 余市豊浜学園
- 社会福祉法人 岩見沢清丘園 ワークつかさ
- 社会福祉法人 札幌療育会 ノビロ学園
- 社会福祉法人 札幌療育会 ノビロ青年の家
- 社会福祉法人 あぶた福祉会 清水友愛の里
- 社会福祉法人 緑星の里
- NPO法人 南宗谷ひだまりの会
- 社会福祉法人 あけぼの福祉会 岩内あけぼの学園
- 社会福祉法人 札幌綠花会 松泉学院
- 社会福祉法人 札幌綠花会 大倉山学園
- 社会福祉法人 豊浦豊和会 豊浦やまと光星園
- 社会福祉法人 豊浦豊和会 やまと郭公の里
- 社会福祉法人 しべつ福祉会
- 社会福祉法人 北海道療育園
- 社会福祉法人 静内ベテカリ 静内ベテカリの園
- 社会福祉法人 北陽会 のべしヶ光星苑
- 社会福祉法人 ないえ福祉会
- 社会福祉法人 北海道宏宗社
- 社会福祉法人 浦川向陽会 浦川向陽園
- 社会福祉法人 德美会 歌葉慈光園
- 社会福祉法人 札幌この実会
- 北・北海道知的障がい福祉協会
- 社会福祉法人 新生会 希望学園
- 明日佳グループ
- 新太平洋建設株式会社
- 社会福祉法人 北海長生会
- 社会福祉法人 北海道社会福祉協議会
- 社会福祉施設部会
- 株式会社アクト調剤
- 社会福祉法人 札幌三和福祉会 三和莊
- 社会福祉法人 真宗協会 帯広慈光学園
- 社会福祉法人 登別さいわい福祉会
- 月とらいあん
- 社会福祉法人 札幌綠花会 緑ヶ丘療育園
- 社会福祉法人 雨竜園 雨竜町暑寒の里
- 社会福祉法人 南宗谷福祉会 天北厚生園
- 株式会社 Medicalスカイ
- 公認会計士・税理士 林 光行事務所
- 株式会社クレオトラベル
- 株式会社基設備研究所

法人窓口

〒061-1123 北広島市朝日町2丁目6番地9
電話代表 011-373-8809 FAX 011-373-8673

ホームページ <http://www.kitahiro-fukusukai.or.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/kitahirofukusukai>

E-mail honbu@kitahiro-fukusukai.or.jp